



上田市立東小学校 学校だより

望

と

勇

令和8年9月18日

No.21

文責 田中 誠

秋の研究授業DAY



今年度も、研究授業の季節がやって参りました。

火曜日には東信教育事務所学びの共創課より、濱嶋 健太 指導主事と、大道 健人 指導主事をお招きし、4学級の授業を参観していただきました。1年1組は算数、1年2組は国語。5年2組は国語、6年2組は社会です。おや、3・4年生は…？ はい、7月13日に第一陣として3年2組（道徳）、4年1組（国語）で公開しました。

教育事務所の指導主事に授業を見ていただける機会は年に数回です。入念な準備と程よい緊張感をもって授業に臨みました。毎日やっている授業ではありますが、こうして節目に構造や声掛けの質について精査し、多くの方の目に触れることで、教師としてのレベルアップにつながります。どの仕事もそうだと思いますが、ずっと自己流でやっているとどうしても頭打ちになってしまう。これでいいかと思った瞬間、プロとしての伸び代は潰えてしまうようです。

長野県では、教員育成の重要な柱に「子どもと共に学び続ける教師」を掲げています。どんなにベテランになっても、常に子どもの姿から学ばないといけない。とりわけ授業については、子どもと教師の呼吸の中で学びが生まれます。子どもの姿に合わせて教師の「見通し」を修正しなければ成り立ちません。それはまさに「勘」ともいえる力ですが、初めから備わっているのではなく、こうした研究授業で磨かれていくものだと思っています。

4人の先生方の、授業を終えた後の晴れやかな顔が印象的でした。きっと多くの手応えを得たことと思います。